

## 発達障害学演習

## Seminar for Birth Defects

4単位 (選択) 1年 (通年), 2年 (通年), 3年 (通年)

福井 義浩(授業責任者)・教授/医学専攻 発生発達医学講座, 坂田 ひろみ・講師/医学専攻 発生発達医学講座

【授業目的】中枢神経系の発生・発達障害の成立機構解明に関する実験技術を体得し、さらに先天異常への興味を深くする。

【授業概要】子宮内環境の影響を強く受ける胎児中枢神経系の発生異常と生後の学習障害や精神発達遅滞 (胎児性アルコール症候群等) との関連性に関する神経解剖学的, 分子生物学的解析法を学習する。遺伝性小脳性運動失調の発症機序を免疫組織化学的, 分子生物学的に解析し, さらに発生, 発達と関連した学術論文を抄読し, 仮説や研究計画の立案のしかたおよびその実証方法について理解する。

【授業方法】オムニバス方式

【履修上の注意】受講前に書く授業の担当教官と連絡を取り, 受講上の注意事項について確認すること。

授業の e-learning 化は準備中である。完成後, 速やかに導入する。

【授業計画】

	大項目	内容
1.	抄読会・リサーチカンファレンス	毎週火曜日 19:00~ 20:30
2.	研究指導・技術指導	随時

【成績評価】出席状況等, 授業への取り組み姿勢にもとづく評価と, 各教員による評価を併用して行う。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217605>

【連絡先】

⇒ 福井 ([fukui@basic.med.tokushima-u.ac.jp](mailto:fukui@basic.med.tokushima-u.ac.jp)) MAIL

⇒ 坂田 (088-633-7052, [haga@basic.med.tokushima-u.ac.jp](mailto:haga@basic.med.tokushima-u.ac.jp)) MAIL

【備考】・中枢神経系研究の基礎的手法の方法論を理解できる

・発生学研究の方法論の理解も併せて行う。

同一大口座の他分野等との人的交流を活発に行なう。